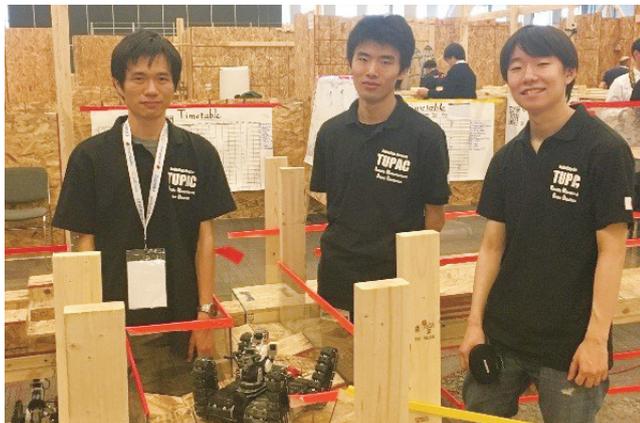




TOP NEWS

ロボカップモントリオール世界大会で
世界一!!

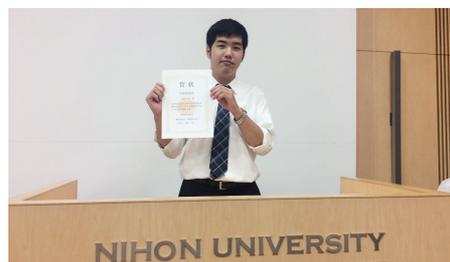
2018年6月18日から21日までカナダモントリオールのモントリオール国際会議場で行われた「ロボカップ2018モントリオール世界大会」の「Rapidly Manufactured Robot Challenge」において、他学校の生徒2名との混成チームで、本校の菊池雄一さん（電子情報工学コース5年）が、またメンターとして小森工さん、多田有佑さん（いずれも電気電子工学コース5年）が参加し、見事世界第1位となりました。

18日から20日までは小さな障害物コースを何往復できるかを競う予選が、世界から選抜された11チームにより行われ、予選を通過した5チーム中、断トツの1位通過となりました。また21日には、大きな障害物コースをどれだけ長く通過できるか、またねじ回しや画像認識などのミッションをどれだけ多く達成できるかを競う決勝が行われ、これも他を大きく引き離して世界第1位となりました。

ここからは平成29年度上半期にFacebook公式ページで注目された記事をご紹介します。
Facebook公式ページは右のQRコードを読み取っていただくか、HPからご覧ください。

第37回数理科学講演会にて本校専攻科の
学生が学術奨励賞を受賞!!

8月27日(月)に開催された第37回数理科学講演会にて本校専攻科1年生の山田夕介さんが学術奨励賞を受賞しました。山田さんは専攻科における特別研究において、スマート構造を適用した構造ヘルスマニタリング技術として、産業プラント配管の減肉摩耗の検知に関する研究を行っています。今回は、アルミニウム製のパイプ状供試体を用いた検知実験によって、減肉長さの定量的検知の可能性を示した研究結果についての発表が評価され受賞となりました。



▲表彰式の様子

ジェームズ ダイソン アワード 2018
において、国内準優秀賞を受賞!

医療福祉工学コース5年の手塚蒼太さんが、ジェームズデザイン財団(英国ウィルトシャー州マルムズベリー)が主催する「JAMES DYSON AWARD2018 (ジェームズ ダイソン アワード2018)」において国内準優勝を受賞しました。日本の名だたる大学からこのコンテストへ多数の応募がされる中、手塚さんは見事日本2位となる国内準優勝受賞の栄誉を勝ち取りました。

手塚さんは深谷直樹准教授の研究室に所属し、同研究室が受託中の国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の「次世代人工知能・ロボット中核技術開発」事業で開発した2本指型「オリガミハンド」を更に発展させた「5本指型オリガミハンド」を新たに開発しました。

手塚さんを含めた上位3件のアイデアが日本代表としてJAMES DYSON AWARD2018 (ジェームズ ダイソン アワード2018) 世界大会に進出します。この世界大会では世界27カ国の代表からTop20のアイデアが選出、その中から国際最優秀作品が選出され、11月21日に発表されます。なお国際最優秀作品には賞金30,000ポンド(約450万円)が贈られます。



▲手塚さんとロボットハンド

学生国際交流プログラムを実施

9月10日-14日、シンガポールにあるニーアンポリテクニクから学生が来校し、本校の学生と交流をする学生国際交流プログラムを行いました。

ニーアンポリテクニクの学生は本校の学生とグループワークやプレゼンテーションを行ったり、カップヌードルミュージアムや鎌倉へのフィールドトリップ、ANAの工場見学を通して日本や東京について学びました。



▲アイスブレイクの様子



▲グループワークの様子

学生インタビュー



在校生の様子がわかる「学生インタビュー」をHPで公開しています。
[入学希望の方]ページからご覧ください。
さらに詳しい情報は本校公式ホームページ並びにFacebook、twitterをご覧ください。